

きんもくせい

病院だより

vol.94

令和3年
3月号

日本人の2人に1人が、がんになる時代 気管支鏡で「肺や気管支の異常な影」にアプローチ



▲ 気管支鏡検査をする呼吸器内科医師の様子

内視鏡検査というと胃カメラや大腸カメラを思い浮かべる方が多いと思いますが、それだけではありません。気管支鏡検査は、肺や気管支の病気を診断するための内視鏡検査の一種です。気管支鏡検査は気管支鏡と呼ばれる直径 5 mmほどの細い内視鏡を用いて口や鼻から挿入し、肺や気管支の状態を診ます。この検査が行われるのは、肺がんや感染症などの病気を疑う場合、痰に血が混じる場合、痰が詰まって息が出来ない場合、異物を誤嚥した場合などが挙げられます。

今や日本人の2人に1人が、がんになる時代と言われています。今月は「肺がんってどのように診断されるの？どのような治療をするの？」そんな疑問に当院の呼吸器内科医師がお答えいたします。

肺がんの診断と治療について



呼吸器内科部長 おざわ なおや 小沢 直也 医師

はじめに

新型コロナウイルスの感染拡大が続いています。市民の皆さまには、外来受診の際に詳細な問診票を記入いただいたり、入院や手術の際にPCR検査を行っていただいたりと、様々な面でご協力をいただき誠にありがとうございます。さて、このように感染症が猛威を振るう中でも、肺がんを発症される患者さまが減少する訳ではありません。今回は、肺がんの診断に至るまでのプロセスと、現在の抗がん剤治療について、簡単にご説明させていただきます。

肺がんと診断されるまで

肺がんが疑われ、我々の外来に受診するのはどのような場合でしょうか。無症状の患者さまでは、健康診断で胸のレントゲン異常が見つかったり、他の病気を精査する目的でCT写真を撮った際に異常を指摘されたりして、呼吸器内科を受診します。長引く咳や息切れ、^{けつたん}血痰、体重減少が発見のきっかけになる場合もあります。肺がんを疑う「異常な影」が見つかった場合、まず細胞を取る検査(=病理検査)を行います。呼吸器内科では、主に「気管支鏡」と呼ばれるカメラを用いることで「異常な影」にアプローチします。この検査は原則的に1泊2日の入院が必要です。

治療方針の決定

精密検査によって肺がんと診断された場合、頭部MRIやPET/CTなどを行い、進行度(=病期)を決定します。進行度は大きく分けて、①早期がん②局所進行がん③進行がんの3つに分かれます。①早期がんでは、一般的に手術療法が選択されます。この場合、呼吸器外科を紹介受診していただきます。②局所進行がんでは、放射線治療を併用した化学療法(=抗がん剤)の治療を行うことが標準的です。③進行がんの場合、年齢や体力を考慮して、化学療法による治療を行います。

化学療法

この10年間で、肺がんに対する化学療法は大きく変化しました。

1つ目の大きな変化は、分子標的薬の登場です。がんは加齢に伴う「遺伝子の異常」が原因で発生します。この「遺伝子の異常」にはたくさんの種類がありますが、EGFR、ALKなどといった特定の遺伝子の異常においては、その遺伝子を標的とした薬剤が第一選択薬となります。このため、先述した気管支鏡で採取したがん細胞を、遺伝子の検査に提出します。

2つ目は、免疫チェックポイント阻害薬の台頭です。この薬剤は、免疫のブレーキを外すことで、がんに対する免疫を高めることを期待します。京都大学の本庶先生がノーベル賞を受賞され有名になった「オプジーボ」に始まり、現在では複数の免疫チェックポイント阻害薬が認可され、いくつかの薬剤を組み合わせる治療が標準治療となりつつあります。患者さまの年齢、体力、病状に合わせた治療を行っていきます。

さいごに

肺がんの治療は年を追うごとに変化しています。我々、呼吸器内科では、エビデンス(=科学的根拠)に基づいた治療を提案することを心がけていますが、最終的には患者さま本人に納得いただくことが最も重要であると考えています。治療に関してご不明な点があれば、ぜひお話を聞かせください。

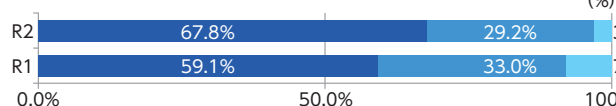
令和2年度 患者満足度調査結果報告（抜粋）

外来及び入院患者さまを対象としたアンケートを実施しましたのでご報告いたします。

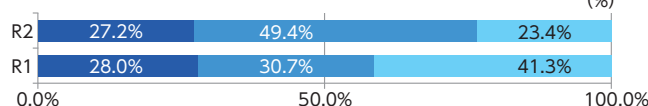
	調査実施日	有効回収数（回収率）
外 来	令和2年10月19日(月)～23日(金)	973件（回収率64.9%）
入 院	令和2年10月1日(木)～31日(土)	341件（回収率79.3%）

【外 来】 ① ■思う・やや思う ■どちらでもない ■やや思わない・思わない
② ■とても満足・やや満足 ■普通 ■やや不満・とても不満

①【当院を親しい人にもすすめようと思いますか?】(%)

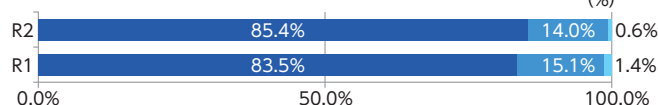


②【会計の待ち時間】(%)



【入 院】 ① ■思う・やや思う ■どちらでもない ■やや思わない・思わない

①【当院を親しい人にもすすめようと思いますか?】(%)



調査結果及び皆さまからいただいた貴重なご意見等を踏まえ、引き続き患者満足度を高めつつ医療の質の向上に取り組んでまいります。

調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

会計待ち時間 短縮プロジェクト実行中

～待ち時間10分以内を目指して～

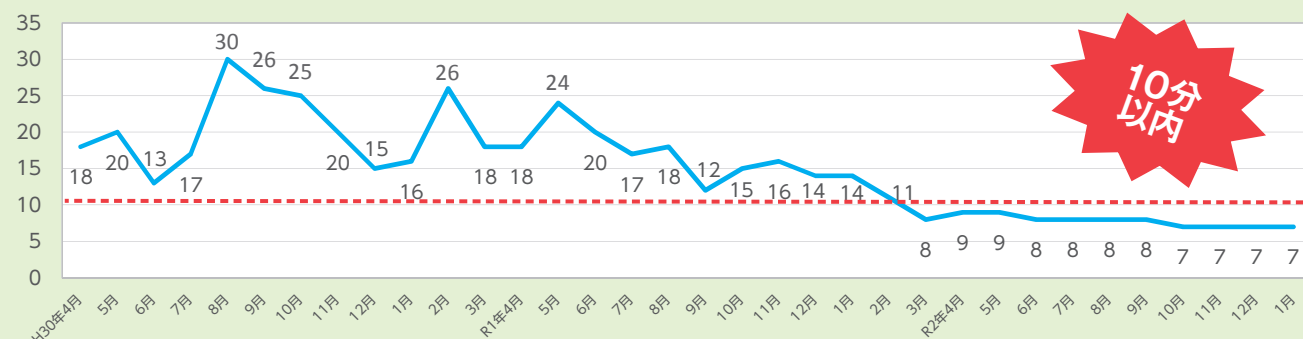
会計待ち時間 ⚡

年度	2018	2019	2020 (1月まで)
平均会計待ち時間	20	16	8
	(分)	(分)	(分)

▼会計待ち時間短縮に向けた主な取り組み

- ・混雑を予測して会計担当職員を増員
- ・会計待ち時間を表示
- ・患者さまへのお知らせ機能強化

(分) 外来会計待ち時間の推移（月別） (平均値)



患者さまからは、
「会計の待ち時間が長かったが、今は改善されて早くなり良かったと思います。」
といったご意見が寄せられた一方で、
「小さい子供が受診するので待つのが大変。会計をもう少し早く出来ないでしょうか。」
といったご意見もいただきました。（令和2年度患者満足度調査より）
皆さまからいただいた貴重なご意見を踏まえ、今後も待ち時間短縮に取り組んでまいります。

安全な血液透析治療を行うため、さらなる技術の向上を目指します

腎不全の患者さまは、体に溜まる老廃物や余分な水分を排泄^{はいせつ}することができないため、週に3回通院し透析治療を受けています。透析治療を行う患者さまはシャントと呼ばれる、透析治療で血液を取り出すための血管が必要になります。しかし、透析のたびにシャントに針をさすため、血液の流れが悪くなる、血管が曲がる、細くなる、こぶになる等の様々なトラブルが起きやすくなります。



▲ エコー練習の様子

当院では、昨年8月から超音波検査機器（エコー）を使用したシャント管理が透析室で実施できるようになり、以前と比べて、シャントの異常を早期に発見でき、患者さまへの負担が少ない治療につながられるようになりました。現在、透析室の看護師と臨床工学技士がエコーを使用して、シャント^{せんし}穿刺や検査の技術習得のため日々努力しています。

私たちは、透析患者さまの命綱であるシャントを守るよう、さらなる技術の向上を目指します。

お知らせ — information —

皮膚科は「皮膚科・皮膚腫瘍科^{しゅよう}」に診療科名が変わります

当院の皮膚科は、令和3年4月から診療科名を「皮膚科・皮膚腫瘍科」に変更します。
なお、受診の際には必ず事前に予約を取るようお願いいたします。

● 医師異動のお知らせ ●

1月31日付 退職

麻酔科 小林 弘樹

今までありがとうございました

2月1日付 採用

麻酔科 佐藤 佑太

よろしくお願いします

1月の 診療実績

1日あたりの患者数	
入院	384人
外来	1,182人
紹介率	78.2%
逆紹介率	111.5%
病床利用率	76.8%
平均在院日数	9.3日
手術件数	424件
救命救急センター受診者数	1,282人
救急搬送件数	460件

病院だより「きんもくせい」は、中東遠総合医療センター、掛川・袋井両市役所及び一部の市内公共施設にて無料で配布しております。

ホームページ <https://www.chutoen-hp.shizuoka.jp/>

過去の病院だよりをホームページでご覧いただけます。

スマートフォン・タブレットからアクセスする際にはQRコードをご利用ください



〒436-8555
掛川市菖蒲ヶ池1番地の1
TEL 0537-21-5555

